昌子の広場 第251報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員
小林昌子
和泉市緑ヶ丘2-13-10
自宅Tel　0725-54-2626
Fax　020-4669-6920
事務所Tel(Fax)0725-53-4451
Email　masakokob@yahoo.co.jp
http://masako-hiroba.info/
ホームページもご覧下さい

目　次

・和泉市職員の残業実態について　P1
・住みよさランキングについて　P2-3
・大丈夫かマイナンバーカード　P4

和泉市職員の残業実績について

公務員の残業は

意外と多い！

●残業時間の規制について
地方公務員の勤務時間は、地方公務員法（昭和 25 年法律第 261 号）第 24 条第 5 項の規定により、条例で定めることになりますので自治体により様々な取扱いが可能ですが、同条第 4 項と同法第 14 条第 1 項（情勢適応の原則）にあるように、国と世の中のルールを踏まえることになりますので、結局同じになる傾向にあります。
企業であれば、労働基準法第 36 条第 4 項に限度時間は、一箇月について四十五時間及び一年について三百六十時間。一方、国家公務員にも人事院規則 15-14（職員の勤務時間、休日及び休暇）第 16 条の 2 の 2 第 1 項第 1 号イに一箇月において超過勤務を命ずる時間について四十五時間、一年において超過勤務を命ずる時間について三百六十時間と定めます。
　つまり、地方公務員の時間外勤務は、原則として 1 か月当たり 45 時間、1 年当たり 360 時間が上限となります。

和泉市職員の残業実態について
住みよさランキングについて
大丈夫かマイナンバーカード

●年間 360 時間を超える職員

時間数（時間）	R2年度（人）	R3年度（人）	R4年度（人）
360-399	15	22	27
400-499	25	39	29
500-599	15	14	19
600-699	8	10	12
700-799	5	9	4
800-899	5	4	0
900-999		4	2
1000-1100			1
合計	73	102	94
時間外平均	524.7	526.8	499.5

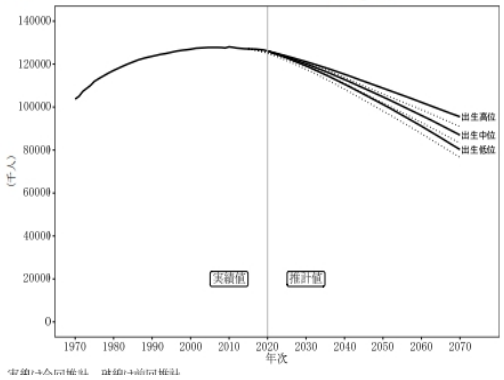
上限の年間 360 時間を超える職員は約 100 人、平均残業時間 500 時間、最高では 1000 時間にも達し、毎日 4 時間の残業を行っている事となり、働き方改革とはほど遠い状況です。
●R4 年の個人別の残業が多い職場は下表の通りで、残業が多い職場が人事課、学校園管理室に偏っています。

	所属名	年間残業時間
1	人事課	1090
2	人事課	926
3	人事課	907
4	学校園管理室	739
5	学校園管理室	736
6	生涯学習推進室	724
7	総務管財室	704
8	学校園管理室	689
9	学校園管理室	680
10	子育て支援室	676

人口減少にどう対応

国立社会保障・人口問題研究所は、令和２(2020)年国勢調査の確定数を出発点とする新たな全国将来人口推計を行い、その結果を「日本の将来推計人口(令和５年推計)」として公表しました。
日本の将来推計人口とは、出生、死亡、国際人口移動について、実績値の動向をもとに仮定を設け、日本全域の将来の人口規模、男女・年齢構成の推移について推計を行ったものです。
その内容は、総人口は50年後に現在の７割に減少し、65歳以上人口はおよそ４割を占める。との衝撃的結果です。
前回推計よりも出生率は低下するものの、平均寿命が延伸し、外国人の入国超過増により 人口減少の進行はわずかに緩和しています。

総人口の推移　―出生中位・高位・低位（死亡中位）推計―　(p.26)



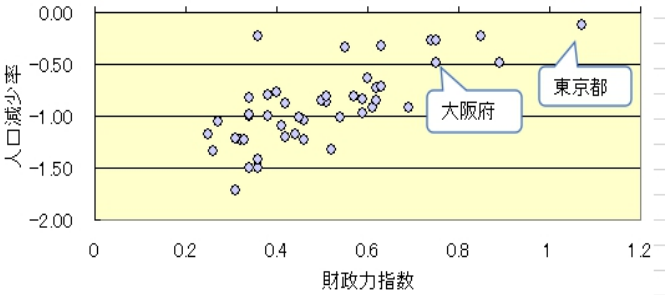
人口減 全都道府県で

1月時点 最多80万人減

一方総務省が、住民基本台帳に基づく今年１月１日時点の人口を発表しました。日本人の人口は１億２２４２万３０３８人で、前年より８０万５２３人減り、減少数は過去最多だった前年よりも１８万人以上多かった。唯一人口が増えていた沖縄県も減少に転じ、今の調査方法になった１９７３年以降、初めて全都道府県で日本人の人口が減少した。
各自治体の人口減少率の上位10自治体と大阪府、減少率が最低の東京都の減少率を右上表に示します。過疎地で人口減少が多い傾向が見られます。財政力指数と人口減少率の関係を別図で示します。

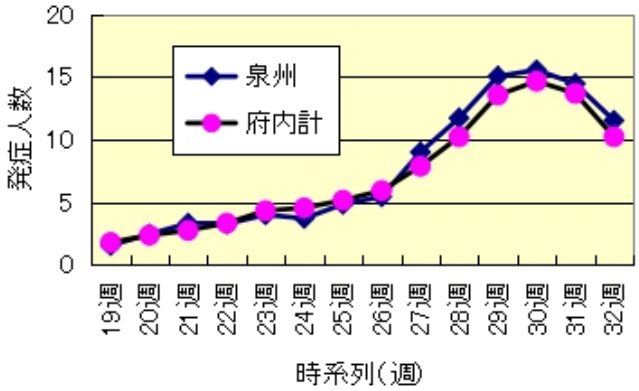
	自治体	減少率
1	秋田	-1.71
2	青森	-1.50
3	岩手	-1.50
4	山形	-1.42
5	高知	-1.34
6	福島	-1.33
7	新潟	-1.23
8	和歌山	-1.23
9	長崎	-1.23
10	徳島	-1.21
40	大阪	-0.48
47	東京	-0.12

財政力指数と人口減少率



コロナ５類移行後のコロナ発症数

コロナ発症人数(定点施設一週当たり)



感染者の定点把握となった以降の感染者の状況は上図の通りで、一貫して増加していましたが一転減少に転じており、ピークアウトが期待されます。

昌子の日記＆予定

8/1 防災講演会
8/3 「先進的水道管劣化予測診断に学ぶ」学習会
8/4 子ども議会（8 校参加）傍聴
8/8 和泉中央駅会報配布、槙尾川を考える定例会
8/9 都市計画審議会　8/10 和泉府中駅会報配布
8/16 高齢社会を良くする会　介護問題研究会
8/21,22 和泉中央駅会報配布、8/23 府中会報配布
8/24 府中駅会報配布、こども食堂
8/28 介護保険運営協議会傍聴 8/29 ごみ問題学習会

和泉市」みよさランキング大阪府内でだっ位と変わらず

全国では510位とゾ化（東ゲ経済新報社調べから）

恒例の住みよさランキングの最新版が東洋経済新聞社から出ていましたので、調べてみました。住みよさランキング 2023 の総合 1 位は、石川県野々市市となりました。一昨年 1 位、昨年 3 位からの躍進です。野々市市の HP にランキング 1 位に選ばれた事が報告されています。
（https://www.city.nonoichi.lg.jp/soshiki/10/46722.html）　昨年 1 位の武蔵野市は 2 位に後退しました。

住みよさランキングの上位は石川県、福井県、鳥取県など日本海沿いの県が多くを占めています。
和泉市のランキングの推移は以下の表の通りです。今回全国順位が低下しています。

年	順位		総合評価	各指標の順位			
	全国	府内	偏差値	安心度	利便度	快適度	富裕度
2023	510	14	49.23	674	293	263	397
2022	484	14	49.33	595	315	345	374
2021	353	11	49.97	558	307	205	379
2020	486	12	49.37	661	306	226	389
2019	559	11	48.95	604	309	434	410
2018	536	23	48.86	713	297	413	328
2017	595	27	48.50	709	400	416	341
2016	638	27	47.96	675	496	418	343
2015	556	27	48.53	629	432	373	302
2014	565	27	48.39	609	557	270	291

今回全国順位が低下した要因は左表にありますように安心度が悪化したことによるものです。

順位	前年順位	市名（都道府県名）	総合評価偏差値	安心度	利便度	快適度	富裕度
1	3	野々市(石川)	56.21	248	8	89	163
2	1	武蔵野(東京)	55.07	782	5	104	1
3	2	福井(福井)	55.04	188	40	28	35
4	7	文京区(東京)	55.02	414	6	168	56
5	5	白山(石川)	54.92	112	162	65	69
6	9	長久手(愛知)	54.88	376	26	43	39
7	8	つくば市(茨城)	54.79	355	135	58	7
8	4	倉吉(鳥取)	54.61	12	53	371	381
9	17	人吉市(熊本)	54.56	14	15	353	638
10	6	金沢(石川)	54.21	402	38	191	24
43	22	大阪市	52.82	808	9	46	29
46	40	箕面市	52.74	354	423	79	58
55	48	吹田市	52.55	364	605	70	37
129	98	豊中市	51.70	454	523	176	59
149	96	池田市	51.56	543	472	195	40
204	143	茨木市	50.95	570	706	74	72
251	336	泉佐野市	50.63	796	21	485	84
277	267	大阪狭山市	50.41	181	758	276	439
348	274	高槻市	50.03	450	702	213	231
409	368	摂津市	49.70	719	734	233	66
426	353	堺市	49.61	671	511	190	208
453	482	高石市	49.48	619	412	354	259
508	420	守口市	49.24	748	145	256	387
510	484	和泉市	49.23	674	293	263	397
570	590	四条畷市	48.83	582	340	327	557
600	576	枚方市	48.55	669	726	187	345
601	603	東大阪市	48.55	797	262	286	263
623	553	八尾市	48.46	716	453	383	335
638	670	泉大津市	48.38	771	254	437	290
650	667	藤井寺市	48.25	637	268	554	427
664	699	泉南市	48.16	477	396	583	537
677	631	貝塚市	48.09	579	538	495	474
688	718	交野市	47.99	547	793	255	502
704	689	寝屋川市	47.86	775	339	199	563
733	687	門真市	47.56	809	116	406	438
744	755	大東市	47.38	757	570	393	433
746	771	羽曳野市	47.36	518	794	361	614
752	778	柏原市	47.31	646	789	400	446
767	751	岸和田市	47.03	794	482	348	499
771	787	富田林市	46.97	590	808	385	518
792	776	河内長野市	46.16	708	800	473	559
804	805	松原市	45.53	811	562	391	616
807	801	阪南市	45.34	709	700	663	681
812(最下位)		行方市(茨城)	44.16	524	764	810	680

都市データパック2023(東洋経済新報社)より

▼4 つの観点と算出指標（全国 792 市と東京 20 区が対象）

■［安心度］　○病院・一般診療所病床数（人口当たり）　○介護老人福祉施設・介護老人保健施設定員数（65 歳以上人口当たり）　○20～39 歳女性人口当たり 0～4 歳児数　○子ども医療費助成（対象年齢・所得制限の有無　○人口当たり刑法犯罪認知件数　○人口当たり交通事故件数

■［利便度］　○小売業年間商品販売額（人口当たり）　○大型小売店店舗面積（人口当たり）　○可住地面積あたり飲食料品小売り事業所数　○人口当たり飲食店数

■［快適度］　○転入・転出人口比率　○水道料金　○汚水処理人口普及率　○都市計画区域人口当たり都市公園面積　○気候（月平均最高・最低気温、日照時間

■［富裕度］　○財政力指数　○納税義務者一人当たり所得　○住宅延床面積　○住宅地平均地価　○人口当たり法人住民税

▼評価方法　20 指標それぞれについて平均値を 50 とする偏差値を算出し、その平均を総合評価とした。又安心度、利便度、快適度、富裕度の部門ごとの平均偏差値での順位づけを行っている。

		野々市市	和泉市	箕面市
基本情報	面積(Km²)	13.56	84.98	47.90
	人口	53,981	184,615	139,126
	平均年齢	41.7	45.8	45.3
	老齢人口比率(%)	19.94	25.5	25.43
	生産年齢人口比率(%)	64.5	61.2	59.6
保育・福祉	医療費助成(通院)	18歳まで所得制限なし	18歳まで所得制限なし	18歳まで所得制限なし
	同上(入院)	18歳まで所得制限なし	18歳まで所得制限なし	18歳まで所得制限なし
	保育所利用児童数(人)	2,217	2,670	2,800
	待機児童数(人)	0	0	91
	介護老人施設定員数(人)	359	555	750
公共料金	水道料金(1ヶ月)(円)	2,668	3,374	3,751
	下水道料金(1ヶ月)(円)	3,416	2,502	2,356
	介護保険料(円)	6,100	6,420	5,400
財政力	一人当たり税収額(万円)	14.7	14.2	17.3
	一人当たり歳出額(万円)	39.1	44.4	55.5
	経常収支比率(%)	89.8	98.9	91.5
	ラスパイレス指数	98.6	97.2	95.7
	実質公債比率(%)	7.0	6.5	2.7
	将来負担比率(%)	10.6	0	13.3
	財政力指数	0.83	0.73	0.93
	自主財源比率(%)	41.6	43.1	52.9
	交付税依存度(%)	9.6	11.5	3
	一人当たり地方債残高(万円)	37.1	28.5	41.4
生活基盤	完全失業率(%)	3.1	5.1	3.5
	納税者一人当たり所得(万円)	329.8	325.3	447.1
	持家世帯比率(%)	44.9	60.5	63.8
	一人当たり都市公園面積(m²)	6.2	4.2	20.8
	一万人当たり医師数	14.6	16.9	24.3
	介護老人施設定員数	359	555	750
	公共下水道普及率(%)	99.7	99.5	100
	千人当たり交通事故発生数	2.4	2.3	1.9

●野々市市は県のほぼ中央にあるコンパクトな市で、すみよさランキング全国5位の白山市と同じく10位の金沢市に囲まれ、市全体が手取川扇状地の平坦地に位置します。金沢駅まで電車で7分の距離にあり、県内では大型小売店施設が集積するなど利便性が高く若いファミリー世代を中心に人口が増加、年少人口比率は全国上位で、金沢工業大学や石川県立大学が所在しています。

●和泉市を全国でトップの野々市市と政令指定都市を除く府内トップの箕面市と比較したのが左表です。野々市市と比較しますと、野々市市は平均年齢、老齢人口比率、生産年齢人口比率のいずれも和泉市と比べ若い市であると言えます。

●財政力に大きな差（箕面市と比較財政力の差も大きいです。一人当たり税収額、経常収支比率、財政力指数などほぼ全ての財政に関する指標で和泉市は劣っています。街の成り立ちに差があるとはいえ、財政規律に格段の配慮が必要と思います。

■大阪府内のランキングをみますと上位を北摂地方の自治体が占めており、南部の自治体は総じて低位にあるといえます。